

11 頁：上から 5 行目 誤： $\triangle OPQ$  正： $\triangle OP'Q'$

61 頁：最下行 の反転図中の記号について

北' , 東' , 南' , 西' はこの順序で 西' , 南' , 東' , 北' に修正する。

$t_3, t_2, t_4, t_1$  はこの順序で  $t_1, t_4, t_2, t_3$  に修正する。

69 頁：上から 3 行目  $OA'$  の分子は 1 ではなく 2

85 頁：上から 3 行目の式右辺： 誤： $T$  正： $T^2$

87 頁：枠の中の右図  $(n + 1/2)d''$  ではなく  $(n + 1/2)d'$

93 頁：式⑥最後の式の分母の最後の項の符号は - ではなく +

95 頁：下から 3 行目 元' 円径ではなく元円径

106 頁：式⑨とその下の式の先頭部分：中÷ではなく中－

107 頁：枠内の右の図の坤' と兌' が逆

141 頁：最下行 公式 37 ではなく公式 47

152 頁：補足のところ

$$\text{誤： 天} = \sqrt{\text{白黄}} = \sqrt{2a2b} \quad \text{正： 天} = 2\sqrt{\text{白黄}} = 2\sqrt{2a2b}$$

160 頁： 2 行目 誤： $OB = p$  正： $OB' = p$

7 行目 誤： $OC = k^2/p$  正： $OB = k^2/p$

8 行目 誤： $AB \cdot OC = AC \cdot OC$  正： $AB \cdot OC = AC \cdot OB$

163 頁：反転図の中 点線の円は乙' ではなく外'

168 頁： $p^2$  と  $t'^2$  の式の第 2 項が誤り

$$\text{誤： } p^2 = \dots + \left( \frac{\text{丙}'}{2} + \frac{\sqrt{3}(\text{丙}' + \text{丙}')}{2} \right)^2 \quad \text{正： } p^2 = \dots + \left( \frac{\text{丙}'}{2} + \frac{\sqrt{3}\text{丙}'}{2} \right)^2 \quad (2 \text{ カ所あり})$$

$$\text{誤： } t'^2 = \dots + \left( \frac{\text{丙}'}{2} + \frac{\sqrt{3}(\text{丙}' + \text{丙}')}{2} \right)^2 - \left( \frac{\text{丙}'}{2} \right)^2 \quad \text{正： } t'^2 = \dots + \left( \frac{\text{丙}'}{2} + \frac{\sqrt{3}\text{丙}'}{2} \right)^2 - \left( \frac{\text{丙}'}{2} \right)^2$$

または、上記左の誤式中の  $\frac{\sqrt{3}(\text{丙}' + \text{丙}')}{2}$  を  $\frac{\sqrt{3}\text{丙}'}{4}$  としてもよい。

175 頁：最下行 『群馬の算額解法』補遺版は『続・群馬の算額解法』pp. 39-42 に移行

191 頁：下から 3 行目『群馬の算額解法』補遺版は『続・群馬の算額解法』に移行しました。

### 補足

76 頁：本書で記述する“2円反転不変式”(法道寺の算変基本式)は2円が離れ、どちらも反転中心を含まない場合に成立します。2円が交差あるいは包含状態にあるときは、反転中心の位置により別の式になるので注意が必要です。その解説は、田部井編著『精要算法』現代的解法 pp. 199-203 (一粒書房、令和2年)にあります。